

鋤崎八幡神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社は平川郷の氏神で、鋤崎八幡宮と称した。第10代崇神天皇54年、豊鋤入姫命が詔を請けて天照大神が鎮まれる宮地を求めて、暫し当郷の名方浜宮に滞在された。この故を以て鋤崎八幡宮は、豊鋤入姫命の「鋤」の字をいただき、鋤の宮という名で崇め祀られた。

建武3年に平川高親が、近江の国野州郡平川郷から遷御の折り、氏神八幡宮を勧請し、鋤の宮に相殿として勧請した。即ち、御神体を近江の国から衛護し奉遷して鋤崎八幡神社と崇め奉った。

又、宮地の山は鋤の尖（さき）に似ており、陰陽の造化不測として黙して仰ぎ奉ることとなった。総て仏神の幽跡凡智に測り恠談（かいだん）となすものである。

諸悪莫作神変神通の道理詰者還愚也。宝基本記曰「神垂は祈祷を以て先とす、冥加は正直を以て本とす、人は天地の靈氣を受けて生じながら靈氣を貴はず、神明の光胤を種ながら神明の禁令を信じず、故に生死長夜の闇に沈みて根の国に吟う」

御供田は応永12年4月19日平川満経寄附書を以て（延宝5年の古記にも免除が有り）当社の規模となった。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 12038

神社名 鋤崎八幡神社（スキサキハチマンジンジャ）

通称名 八幡様

旧社格 村社

鎮座地 〒716-0311 高梁市備中町平川6463

電話番号

FAX番号

駐車場 有 50台

御祭神 豊鋤入姫命, 玉依姫命, 譽田別尊, 氣長足姫尊

御神徳 交通安全, 学業成就, 家内安全, 延命長寿

主な祭典
1月1日: 歳旦祭
4月3日: 祈年祭
11月3日: 新嘗祭

宮司宅電話 0866-45-2132

URL

e-mail

特記事項 御神幸、宮座（お足袋餅・ヨリ御供）古式相撲、渡拍子

氏子地域

高梁市（備中町平川下郷、備中町平川小林、天王白谷、大原田間（内 天王白谷、大原田間）、備中町平川前北、後北、備中町平川竹之倉、後谷、木之村（内 後谷、木之村）、備中町平川中郷、上郷、備中町平川津々羅、越山、東西安田（内 津々羅、越山）、備中町平川平弟子、小迫通槇、金野（内 平弟子、小迫通槇）、備中町平川名木、坪野乙原）

交通アクセス

新成羽川ダムから下郷川沿いに南西に 3 km

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho